

会 議 録

会議の名称		第20回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		平成28年5月9日(月) 開会：午後2時 閉会：午後4時		
開催場所		市役所 議会棟2階 全員協議会室		
事務局(担当課)		総務部企画課		
出席者	委員	長谷川委員, 鈴木(榮)委員, 佐々木委員, 松丸委員, 高梨委員, 勝家委員, 山田委員, 宇留野委員, 鬼沢委員, 武藤委員, 片山委員, 田中委員, 石橋委員, 須賀委員 以上14名		
	事務局	会田市長, 古谷総務部次長兼企画課長, 前川課長補佐, 高橋企画員 以上4名		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2名
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開 会 2 市長挨拶 3 新委員の紹介 4 会長, 副会長の選任 5 議 事 (1) 協議事項 議案第1号 平成27年度事業実績及び収支決算について 議案第2号 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 議案第3号 バス停の新設について 議案第4号 高齢者運転免許証自主返納支援事業の支援内容変更について (2) 報告事項 報告第1号 モコバスの利用状況 報告第2号 市民アンケートの結果 報告第3号 地方創生加速化交付金事業 5 その他 6 閉 会		
確定年月日		会議録署名		
平成28年5月26日		会 長 松 丸 修 久		

審 議 経 過

1 開 会

2 市長挨拶

3 新委員の紹介

事務局から、変更となった5名の委員を紹介

4 会長、副会長の選任

推薦等がないため事務局案を提示。

会 長：松丸 修久 委員，副会長：鈴木 榮 委員

【全員賛成により承認された。】

5 議 事

(1) 協議事項

●議案第1号 平成27年度事業実績及び収支決算について

【事務局から説明】

【片山委員から平成27年度収支決算監査の報告】

○意見・質問等

佐々木委員： 高齢者運転免許証自主返納についてです。2万円という金額は人口比で見たときに多いのでしょうか。また、今後どのようにこの事業を促進していくのでしょうか。昨年度の収支決算からどのように評価されたのでしょうか。

事務局： 返納者数が例年増加している状況にありますが、市の高齢者人口も年々増加しています。他市町村との比較としては、水戸市や日立市の返納者数は多い状況ですが、年齢構成比から見れば、割合的には高くないと考えています。守谷市では、65歳になってすぐに自主返納される方が多いことから、高齢者の自動車運転への意識が変化しているのではないかと思います。このようなことから、今後も自主返納者数は増加することが推測されます。事業PRについては、取手警察署と常総警察署にチラシを置いています。本日の議案にもありますが、財政的にも圧迫される要因となりますので、2万円から1万円にするということを提案させていただきます。他市を見ても1万円前後が多いことから、減額は妥当な金額であると考えています。また、2万円分の回数券を申請者が使用しているか検証できていない現状があり、課題であると考えています。

武藤委員： 回数券を2万円分差し上げるという手厚い事業は、守谷市の特性として残した方が良いと考えます。

鈴木委員： モコバスの運行経費が昨年度より高くなっています。説明ではメンテ

ナンス費用ということですが、今後はどうなるのでしょうか。

事務局： 関東鉄道からは、モコバス自体が老朽化しているため、新しい車両の購入の提案があります。具体的には進んでいませんが、重要課題の1つです。

【採決の結果、全員賛成により承認された。】

●議案第2号 平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

【事務局から説明】

○意見・質問等

佐々木委員： 質問が2つ、提案が1つあります。質問の1つ目は、地域公共交通活性化の本当の目的とは何か、ということをお聴きしたいです。今、行っている事業は、目的を達成するための事業になっていますか。2つ目は、モコバス運行事業を行うことに限界を感じますが、事務局はどう考えていますか。提案としては、モコバスではなく乗合タクシーや福祉タクシーといった方法に切り替えてはどうでしょうか。また、乗り降り自由のデマンドバスの検討もされてはどうでしょうか。

松丸会長： 本協議会が事業主体であります。皆様には9,000万円の使い方について責任を持って、議論していただきたいと思います。

事務局： 後ほど説明させていただく地方創生加速化交付金事業も、公共交通再編に向けたデータ収集の一つであります。データを集めてデマンドタクシーやバスを含めて何が良いかということ、平成29年度又は平成30年度目標に再編していきたいと考えています。また、高齢者がバスに乗らないという現実がありますので、高齢者の乗車人数を徐々に伸ばしていきたいと思っています。1,2年先の公共交通再編に向けて、委員の皆様と研究し、御意見をいただきながら考えていきます。

佐々木委員： この場で、乗合タクシーについて議論・検討することはできないでしょうか。片山委員にお聴きしたいのですが、事業を受ける側としてどのような条件でしたら乗合タクシーの運行が可能でしょうか。

片山委員： つくばみらい市で実際にデマンドタクシーの運行を行っています。1日2台を3社交代で運行しています。月だと7回から8回、午前8時から午後5時までです。料金は一般の方は500円、身体障がい者の方は200円です。完全予約制で、受付はシルバー人材センターの方が行っています。費用は、市からは1社当たり月額34万円が3社分と、配車システムが年間60万円です。その他にシルバー人材センターの人件費が掛かります。デマンドタクシーを利用する人は同一の方が多いです。日曜日と年末年始が休みで、買い物やお風呂に利用する人が多いです。コミュニティバスとは違って通勤などには対応できないので、バスの代わりはできないと思います。

佐々木委員： お話を聞くと、モコバスのCルート（買い物ルート）はデマンドタ

クシーでも良いのではないのでしょうか。このようなことを継続審議していければと思います。武藤委員にお聴きしますが、バスとタクシーの併用といった事例はないのでしょうか。路線バスがタクシーの役割を担う、例えばフリー乗車することはできないのでしょうか。

武藤委員： フリー乗車の場合、お客様が急に手を挙げて、バスは急に止まることができません。安全上の問題でフリー乗車はできません。

佐々木委員： 改めて検討する場を設けることはできないのでしょうか。

松丸会長： 分科会やワーキンググループといった形で、今後の公共交通を検証・検討していきたいと思います。

事務局： Cルートの話ですが、事務局としてはCルートをもっと充実させたいと考えています。Cルートは、本数が少ない割に他のルートと同じぐらい利用者数があります。

松丸会長： 利用者等のデータを整理・用意した上で議論をしたいと思います。

片山委員： モコバスにはドライブレコーダーを設置してありますか。

事務局： 設置しております。

松丸会長： ドライブレコーダーの設置にはどのような効果がありますか。

片山委員： 事故の状況について検証することが可能であり、事故責任の所在をはっきりさせることができます。

【採決の結果、全員賛成により承認された。】

●議案第3号 バス停の新設について

【事務局から説明】

【採決の結果、全員賛成により承認された。】

●議案第4号 高齢者運転免許証自主返納支援事業の支援内容変更について

【事務局から説明】

○意見・質問等

武藤委員： 先ほどお話したとおり、回数券の進呈は2万円分のままでどうでしょうか。回数券にハンコ等を押すことで、払戻しの抑止効果が得られるかもしれません。また、利用者数の把握も可能になります。

事務局： 公共交通の利用促進の観点からすると、高齢者パスを値下げし、かつ高齢者運転免許証自主返納者への回数券は1万円分に減額するというものを検討していただきたいです。

武藤委員： パスを値下げすることによって、市の費用負担が多くなるのではないのでしょうか。

事務局： パスの利用者数は少ない状況です。平成29年度は、値下げすることによりパスの利用者数を増やしていきたいと考えています。

高梨委員： 2万円の利用率はどのくらいでしょうか。免許証を返納された高齢者

にとって有効に使われているのでしょうか。

松丸会長： 高齢者にとって有効に使われているかどうかを把握するための手法を考えなければならぬと思います。この事業は運転免許証を返納するためではなく、バスを利用していただくために実施している事業ですので、長い周知期間を設けなくても良いのではないのでしょうか。回数券のあり方について、御意見があれば述べていただきたいと思います。

石橋委員： 回数券はどのように換金できるのでしょうか。

事務局： 進呈した回数券が実際に換金されているかどうかは分かりませんが、駅で換金することが可能です。周知期間は必要であると考えています。

佐々木委員： 手法の話になっていますので、そもそも、この事業が必要かどうかを考えていただきたいと思います。その上で、今の金額を維持するのか、減額するのかを議論したいと思います。

松丸会長： 本質的な議論をする上で様々な意見があると思います。議案第4号については、継続審議でよろしいでしょうか。

【採決の結果、継続審議となった。】

(3) 報告事項

●報告第1号 モコバスの利用状況

【事務局から説明】

○意見・質問等

鈴木委員： 利用者の数が横ばいの状況ですので、基本的にはルートや時間等を見直した方が良くと思います。

佐々木委員： 事実に基づいた対応が求められます。利用者のデータは収集していますか。

事務局： 一日の内、いつの時間に、どこで乗って、どこで降りたというデータは全てあります。それらのデータを含めた検証をしていきたいと考えています。

松丸会長： 私と事務局でまとめさせていただいて、皆様のお手元にデータを届けた上で検証していきたいと思います。

事務局： 今年度の公共交通調査業務においてデータを整理することとします

佐々木委員： 路線バスについては、武藤委員という専門家がいます。ぜひ、武藤委員の分析も参考にしたいです。

武藤委員： 事業者を含めたワーキンググループという形で議論をしていきたいと思えます。

松丸会長： 細かいデータを分析し、ワーキンググループも行っていきます。皆様には、その都度お声掛けをしますので御協力をお願いします。

●報告第2号 市民アンケートの結果

【事務局から説明】

○意見・質問等

松丸会長： モコバスに限定したアンケート結果はないでしょうか。ないとすれば、この資料からモコバスのあり方というのは、全く読み取れません。

事務局： 公共交通に関するアンケートなので、モコバスに限定した数字は読み取れません。

●報告第3号 地方創生加速化交付金事業

【事務局から報告】

5 その他

事務局： 報酬の対象となる方のマイナンバーを集めさせていただいています。市役所の組織とは別組織になるので、市役所に登録しているという方も再度確認をさせていただきます。

また、例年ですと協議案件が発生した際に皆様に集まっておりましたが、ワーキンググループを設置することになりましたので、例年とは異なった形になります。

さらに、地方創生加速化交付金事業の報告もありますので、複数回、協議会の開催があると思いますので御協力よろしく申し上げます。

6 閉会